

みんなで解決したい問い

学習課題

大事な言葉を選んだり、順番を考えたりしながら、
新しい自動車を説明する文を書こう。

主体的に学習に
取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

㊦ 「なに」が「どんな」だという文の意味がわかる。(1)カ

考えること・表すこと

思考・判断・表現

㊦ 文の順番を考えながら、内容の大体がわかる。(C1)ア
㊦ 文の中で大事な言葉を選ぶ。(C1)ウ

くふうして学ぼうとすること

㊦ 自分が選んだ働く自動車を詳しく説明するために、『はたらく
じどう車』や図鑑などを何度も読み、大事な言葉を見つけて
文を書こうとしている。

【第3ステージ (5) 時間】

評価 ㊦

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦㊦㊦四つの自動車以外の自分の好きな働く自動車を選び、その自動車について説明する文を書く。
- ㊦友達に、書いた文を紹介する。
- ㊦学習したことを振り返る。

ゴール

【この単元を通した振り返り】

振り返りの観点

- ・新しい文をつけ加えたり、選んだ自動車について文を書いたりするときに、どんなことに気をつけましたか。

【第2ステージ (6) 時間】

評価 ㊦㊦

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦㊦『はたらく じどう車』を詳しく読み、文章の構造や「ですから」という接続語で文が結合されていることを理解したうえで、「役割」や「つくり」を紹介する1文を書き加える。
- ㊦㊦四つの自動車について書いてある文を比べ、似ているところや違うところについて考える。
- ㊦㊦四つの自動車の中から一つ選び、その自動車について図鑑などで調べ、その自動車のことがもっとわかるような1文をつけ加える。

【第1ステージ (1) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

- ㊦働く自動車に関するクイズを通して、働く自動車について興味をもつ。『はたらく じどう車』を読み、自分が選んだ働く自動車を詳しく説明する文章を書くという学習課題について話し合い、見通しをもつ。

どのような言語活動を通してどのような力を付けてきたか?

【この単元に関わって知っていること・できること】

文章からわかったことや思ったことについて話し合うことを通して、文の中の主語と述語に気をつけたり、文章中の大事な言葉を考えたりして読むこと。

小学校1年『はたらく じどう車』授業のポイント

単元名 文のつながりや大事な言葉に気をつけて読み、説明する文を書こう

本教材『はたらく じどう車』は、「バス」「コンクリートミキサー車」「ショベルカー」「ポンプ車」の四つの自動車の「自動車の説明」「つくり」「役割」について、「ですから」という接続語を用いながら同じ構成で説明している文章です。各段落は、主述の関係が明確な文が並び、文と文との接続の関係も大変わかりやすくなっています。扱われている自動車もそれぞれ特徴があるため、興味をもった自動車について図鑑等で詳しく調べたり、「私の好きな自動車についても調べて書きたい」という思いをもったりすることにつながることも考えられます。



1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、文章の内容の大体を捉える能力や文章の中の重要な語や文を選び出す力をつけます。児童は『はたらく じどう車』を読み、「自動車の説明」「つくり」「役割」という構造や、「ですから」という接続語で文が結合されていることを理解したうえで、その構造に基づいて教科書の文章に新たな1文をつけ加えたり、自分が好きな自動車を選び新たに説明する文章を書いたりしていきます。教科書の文章や写真、さらには自動車の図鑑等をあわせて読んだうえで新たな1文や新たな文章を書くには、文章の構造を正確に捉え、その構造に基づいて書くことが求められます。そのために、一つ一つの自動車の紹介が「自動車の説明」「役割」「つくり」という構造で書かれていること、「ですから」という接続語で「役割」と「つくり」が繋がっていることなどをしっかりと捉えて読むことが重要となります。そこで、それぞれの自動車について書かれた文章を比較して読んだり、教科書の文章に加えて自動車の図鑑等をあわせて読んだりするなどの重層的な読解を経て、新たな1文や新たな文章を記述する必要があります。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。…(1)カ
思考・判断・表現	◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。…C(1)ア ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。…C(1)ウ
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く文のつながりや大事な言葉に気をつけながら文章を読み、学習課題にそって、働く自動車について説明する文を書こうとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、『はたらく じどう車』を読み、文の構造や文と文とのつながりに注目して1文を書き加えたり、新たな自動車を選び、教材文と同じ構造で説明する文章を書いたりします。第2ステージ②③の段階では、バスの「役割」や「つくり」についての文章の構造や「ですから」という接続語で文が結合されていることを理解したうえで、「役割」や「つくり」を紹介する1文を書き加えます。また、第2ステージ④⑤の段階において、それぞれの文章を比較しながら読み、類似点や相違点を明らかにしたうえで、第2ステージ⑥⑦で四つの働く自動車から一つを選び、図鑑等を参考にしながら大事な語や文を選び出して新たな1文を書き加えます。第3ステージにおいては、四つの働く自動車以外の自分のお気に入りの働く自動車を選び、図鑑等を参考にしながら、教科書と同じ構造で説明する文章を書きます。

自分のお気に入りの「はたらく じどう車」についての文章の例

くわしく	つくり	やくわり	くわしく	つくり	やくわり
はこびます。きゆうきゆう車は、けがやびようきの人をいそいであんぜんにびよういんまではこびます。	ベッドやさんそマスクなどをいそいでいんまではこびます。	ですから、ベッドやさんそマスクなどをいそいでいんまではこびます。	はこびます。大きなそつやこうじげんばなどでおもいにもつを	うでをもっています。下がったりするじようぶな	はこびます。おもいにもつをもち上げてはこびます。

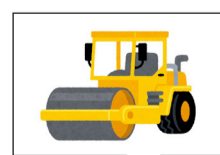
解説 救急車を説明する文章では、バスの文章を参考にして「どんな人を運ぶ乗り物なのか」ということや、消防車についての文章を参考にして「何を つんでいるか」ということなどを文章化している。また、フォークリフトについての文章では、ショベルカーの文章を参考にして「うで」という用語を使いながら、その「うで」の具体的な動きを文章化している。

ワンポイント

興味のある自動車について、紹介したい「役割」や「つくり」を明確にする。

【図鑑等を使い、興味のある自動車について調べる】

【ロードローラーの役割を書き出す例】

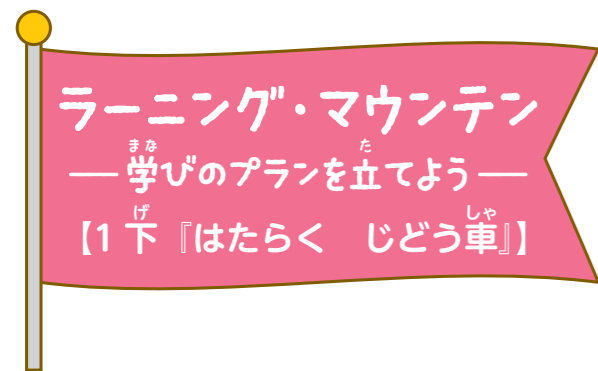


えらんだじどう車
ロードローラー
やくわり
じめんをかためていらに
します。
やくわり
大きなロードローラーが
ついでに
うんでんせきから、じめんが
見えるようになっています。

解説 興味のある自動車を説明する文を書くために、図鑑やタブレットを使って調べ、「役割」や「つくり」について説明されている文章を見つけて書き出している。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから



たんげん名 めい ()

ぜんぶで () じ かん 時間

みんなでかいつしたい
もんだい

わかること・できること

かんが 考えること・あらわすこと

くふうして まな 学ぼうとすること

【第 3 ステージ () 時間】
〈こんな学びでこんな力を！〉

【このたんげんをとおしたふりかえり】



【第 2 ステージ () 時間】
〈こんな学びでこんな力を！〉

【第 1 ステージ () 時間】
〈こんな学びでこんな力を！〉

【このたんげんにかかわって し 知っていること・できること】

